

北イタリア安全対策情報
2021年1月～3月

1 治安情勢

- (1) 当地では、Covid19による入国制限措置が継続しているため、邦人観光客等が極めて少ない状況が続いており、当館への被害報告はなかった。他方、報道によれば、移動制限措置が敷かれる中でも、拳銃使用による殺人未遂事件や強盗事件等の凶悪事件が断続的に発生している。
- (2) イタリア国内でテロの発生及び未遂事案はなかった。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

- (1) スリ 0件（参考：10月～12月は0件）
- (2) 置き引き 0件（同：0件）
- (3) 車上狙い 0件（同：0件）

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおり。

(1) 殺人未遂・傷害

12月31日（木）～1月1日（金）

未明、ミラノ県レニャーノ通り（当館より北西約25km）路上において、アルバニア人の犯人1名（41歳）がモロッコ人2名（33歳、39歳）と口論の後、それぞれに発砲し、1名が死亡、他1名が重体となった。事件後の捜査により、犯人は警察により検挙された。

(2) 殺人未遂

2月23日（火）～24日（水）

夜、ミラノ市内グラトゾリオ地区の公園（当館より北東約7km）において、トラブル等の有無不明なるも、イタリア人男性（35歳）が何者かに拳銃で足を撃たれ、病院に搬送された。被害者に命の別状はなく、犯人は現場から逃走した。

(3) 強盗

3月22日（月）

夜、ミラノ県に隣接するモンツァ・ブリアンツァ県（当館より北東約15km）のスーパーマーケット「Lidl」店内において、従業員が強盗2人組（31歳、45歳）に襲われ、犯人は店内で拳銃3発発砲した後に現金を強取。犯行中に通報を受け臨場した警察官により、犯人は2名とも検挙された。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

特になし

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし